

笑顔あふれるまちへ

タウンミーティング 二巡目 折り返し

市民と市長が直接対話しながら地域の魅力や課題を抽出し、市政運営に生かしていくタウンミーティング。平成25年5月26日に堀江地区から二巡目をスタートして以降、平成26年2月までに21地区で開催しました。(3月14日現在)



小学校敷地内に延長された歩道橋を渡る児童

■通学路の安全対策
本市では地域の皆さんと協力して通学路危険箇所を点検を行い、ホームページでの公表や交差点のカラード塗装など、可能な対策から

取り組んでいます。味酒小学校では、歩道橋を降りた正門前の歩道が通勤・通学自転車の往来で大変危険だったことから、歩道橋を学校の敷地内に直結

ご意見を受けて実施



現場・現地を大切に、市民目線で市政運営を進めようと、野志市長が就任後から最優先で取り組んだタウンミーティング。約2年かけて市内全41地区で開催し、地域資源を生かしたまちづくり支援や通学路安全対策など、寄せられた多くの意見を事業化しました。二巡目では、一巡目でいただいた意見への対応状況を市長自ら説明し、一巡目を踏まえたより深い議論を重ねているほか、開催日を土・日曜・祝日に設けたことで、若年層の参加が増えています。



地域資源を生かしたまちづくりや伝統文化の継承を支援するため、地域の宝みがきサポート事業を行い、地域資源を紹介する看板

の設置など、各地域で住民主体の活動を支援しています。

■地域の宝みがきをサポート

させる工事を行い、2月24日に完成しました。同小児童は「今までは見通しが悪かったのでヒヤリとすることも多く、自転車と接触したこともありました。この歩道橋を大切に使用していきたいです」と喜んでいました。



小中学生も参加し積極的に意見を発表



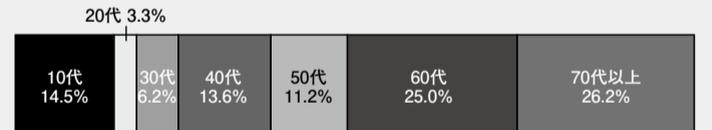
会場に託児スペースを設け子育て世代の参加を促進

二巡目の新たな取り組み 保育士による託児

参加者データ (二巡目<平成25年5月26日~平成26年2月22日>)

参加者数…1,443人(1回当たり68.7人)
発言者数…315人(1回当たり15.0人)

参加世代(年代別)



満足度



※無回答を除く

多く寄せられた意見

- 道路整備(15地区)
- 防災計画の見直し、津波対策など(11地区)
- 地域資源、伝統文化の伝承・活用など(11地区)
- 公園の整備(11地区)
- 子育て支援(10地区)
- 防犯灯、街灯の整備(10地区)
- 学校、公民館の整備など(10地区)
- 河川、下水道の整備など(9地区)
- 通学路の安全対策(8地区)
- 高齢者福祉の充実(8地区)
- 空き家対策(6地区)
- まちの美化、ごみ出しルールに関すること(6地区)
- まちづくり協議会に関すること(6地区)
- 有害鳥獣被害対策(4地区)
- 耕作放棄地対策、農業振興(3地区)
- 過疎地対策、定住促進(3地区)

地域で市長と話そう！ タウンミーティング

参加者募集

第25回 和気地区

【日時】5月17日(土)13時~14時30分

【会場】和気公民館

【参加予定人数】80人程度

【対象】和気地区に在住または通勤・通学している人

【申し込み】4月15日(火)まで

【申し込み】4月15日(火)まで、直接または郵送、ファクス、eメール

【申し込み】4月15日(火)まで、直接または郵送、ファクス、eメール

【申し込み】4月15日(火)まで、直接または郵送、ファクス、eメール

参加者の声 (アンケートから)

- 市役所と市民の距離が縮まり、効果のある会だった(70代・女性)
- 一巡目の対応状況や今後の取り組みがよく分かった(50代・女性)
- 市民の声を市政に生かそうという姿勢が伝わってきた(50代・男性)
- いろいろな人の意見が聞けてよかった(10代・男性)
- 地域住民として自分たちに何ができるか考えるきっかけになった(30代・女性)
- 松山市がもっと住みよいまちになったらいいなと思った(10代・女性)
- 子どもたちにも大変貴重な体験になったと思う(40代・女性)
- 子どもからの意見が多く出てよかった(70代・男性)

お問い合わせは、タウンミーティング課 ☎948 6333・FAX 934